

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト タイのシーリング材・ホース生産拠点で植樹会を開催

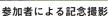
横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)は9月5日(土)、自動車窓枠用シーリング材の生産販売および油圧ホースアッセンブリーの販売を行うヨコハマラバー(タイランド)カンパニーLTD.(YRTC)で「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの植樹会を開催した。タイでは2拠点目、海外拠点全体ではヨコハマタイヤ・フィリピン INC、杭州横浜輪胎有限公司(中国)、ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング(タイ)、ヨコハマタイヤコーポレーション(米国)に次いで5拠点目の植樹となる。

植樹会に向けて国内外の植樹活動全般を指導する宮脇昭氏(植物生態学者/横浜国立大学名誉教授)、タイでの植樹活動を指導するシリン・ゲオライヤッド博士(タイ宮内庁勤務/横浜国立大学で博士号取得)の両氏が土地本来の樹種を調査し、昨年8月下旬から調査に基づく植樹指導を受け、基盤整備や苗木の確保など準備を進めてきた。

当日は従業員とその家族をはじめ、YRTCが所在するラヨーン県のウィシット・チャピサイ副知事、地域コミュニティの代表者や地域住民の皆さま、地元小学校の生徒、YRTCがあるイースタンシーボード工業団地の企業の方々など約350名が参加。プラパト・フォティウォラクンYRTC会長の挨拶や斎藤知二社長のオープニング宣言などに続き、宮脇昭氏による植樹方法の説明が行われ、参加者は土地本来の樹種を高木・低木あわせて16種類、3.500本を植樹した。

「YOKOHAMA千年の杜」は横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年かけて国内外の全生産拠点に杜を創生するプロジェクト。宮脇昭氏の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内7工場、海外グループ会社の11工場で約50万本を植樹する。すでに国内は全生産拠点で第1期植樹を完了し、今年4月から第2期植樹を展開している。海外は5拠点で第1期を完了し、現在までに国内外あわせておよそ11万本強を植樹している。







植樹の様子



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な ●C●MOTION 環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先 横浜ゴム(株) 広報部

TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IR グループ 〒105-8685 東京都港区新橋 5 丁目 36 番 11 号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570